

## ●日時・場所

- 4月28日（火） 9：30～ 霊山中央交流館
- 4月28日（火） 13：30～ 月館ふるさとふれあいホール
- 4月30日（木） 9：30～ 伊達福祉センター
- 4月30日（木） 13：30～ 梁川中央交流館
- 5月 1日（金） 13：30～ 保原市民センター

## ●市長あいさつ要旨

本日は、大変お忙しい中、令和8年度行政推進員会議および事業説明会に出席していただきましてありがとうございます。

皆様には行政推進員として、行政と地域の橋渡し役という重要な役割を担っていただきます。お引き受けいただきました事に対しまして、心から感謝申し上げます。どうぞよろしく願います。

さて、伊達市は平成18年1月に合併し、今年で20周年になります。この20年間は災害が多い期間でもありました。平成23年の東日本大震災と原発事故により、大きな被害と風評被害がありました。令和元年には東日本台風、令和3年と令和4年の2年続けての福島県沖地震があり、また、新型コロナウイルスの感染拡大もありましたが、皆様のご尽力、ご協力により、この度20年という節目を迎えることができました。

市民の融和と一体感をより深めていくとともに、伊達市のさらなる飛躍を目指して、今年は記念事業をさまざまな形で実施してまいりたいと考えております。

まずは、記念式典を6月に実施いたします。この記念式典では、市内外から関係機関の長や、伊達市が友好協定を結んでいる県外の市町村の首長に参加していただきたいと思っています。また、伊達市名誉市民表彰制度を設けまして、郷土の誇りとして市民から尊敬される方を顕彰したいと考えています。

それから、今年1年を通して各種イベントを実施します。今まで実施していたイベントや新たに実施するイベントに20周年事業の冠をつけ、今までよりも盛大に実施していきたいと考えています。

また、9月25日から27日にかけて、全日本ラリー選手権を実施します。約70台のラリー車が伊達市に集まり、保原総合公園をメイン会場に、霊山・月館・梁川のコースでタイムトライアルを実施することとなります。市民の皆様ぜひ観戦していただき、応援していただきたいと思っております。

それから、イオンモール伊達につきまして今年の下期に開業を予定していま

す。平成7年から約30年かけ、皆様のご協力をいただいてオープンすることとなりました。イオンモール伊達には年間1,000万人以上の来客が予想されますので、オープンすることがゴールではなく、これから近隣の市町と協力しながら、伊達市や近隣市町を周遊してもらい、交流人口の拡大そして地域経済の発展に結びつけることが大切だと思っています。

そこで、伊達市としては、イオンモール2階の多くの人が集まる場所に、アンテナショップを設置します。ここでは観光案内や特産品の販売、特産品を使った飲食を提供するカフェ、ふるさと納税の自動販売機の設置などを通して市内のお店などを巡ってもらえるような取り組みを実施してまいります。

さらには、地域公共交通の充実を図っていきたいと思っています。伊達市にはJRと阿武隈急行、路線バス、タクシーまたはデマンドタクシーと、多くの交通機関があり、それらをしっかり結びつけ、使いやすい公共交通にしていきたいと考えています。やはり、市民の足の確保が重要であり、歳を取っても外に出られるよう足の確保をしっかりしてまいりたいと思います。そのためには、デマンドタクシーの充実を図りたいと考えています。現在、デマンドタクシーは3つのエリアで運行していますので、乗り換えをできるだけ少なくできるような交通のあり方を検討していきたいと考えています。

それから、交通網を支える道路と橋についてですが、伊達橋については、国直轄で現在工事を進めていただいております。取付道路の舗装工事を実施していますので、今年の夏頃には開通する予定と伺っています。

また、伊達崎橋につきましても、仮橋を設けた後に本橋を撤去し、元の場所へ新たな橋を設置するとのことでした。

道路に関しましては、福島西道路について、現在は国道13号線の接続で止まっていますが、国道4号線まで伸ばす計画がございます。その計画を国が作成しており、ルートについてはこれからですが、福島北道路として福島西道路へ接続することで移動時間が短縮されることによる経済効果が大きいと思いますので、国へ早期完成を要望してまいります。

これからも市民の皆様と共に、便利で人に優しく、豊かなまちづくりを進めてまいりたいと考えていますので、皆様のご意見、ご協力をお願いいたします。

それでは、令和8年度の事業について説明させていただきます。伊達市では、市民が希望を持てる「伊達市の未来創造」に取り組むための予算として、「若者が定着するまちづくり」、「便利で暮らしやすいまちづくり」、「人にやさしいまちづ

くり」、「豊かさを感じられるまちづくり」の4つのまちづくりを進めてまいります。人口減少や少子高齢化等の様々な地域課題の解決に向け、将来にわたって魅力と活力のある伊達市を築くために、若い方に選ばれるまちにする必要があります。若者が定着するためには、若者が活躍できる環境づくり、そして安心して子育てができる支援体制の充実が必要と考えています。

さらには、伊達市のすばらしい魅力を地域内外に発信し、伊達市の魅力を広めていきたいと考えています。市民の皆様にもご協力をいただき、伊達市の魅力を発信してもらえようインナープロモーションを進めていきたいと考えています。（以下、事業説明書の資料のとおり）

## 【霊山地域：質疑応答】

### ■クリーンアップ作戦について

行政推進員（広畑）：毎年市から道路や河川のクリーンアップの要請があり、参加できない人からは出不足金を徴収するものとしているが、市としては無償の奉仕作業としての要請という認識で間違いないかお尋ねしたい。

建設部長：クリーンアップ作戦は県下一斉に行う愛護活動です。高齢化等の影響で参加者が少ない問題は承知しております。こちらにつきましては、あくまでも地域の河川をはじめとした環境美化活動でございまして、市から強制しているものではございません。そのため、協力していただける範囲内での活動にご理解をいただければと思います。

行政推進員（山野川東部2）：道路愛護デーについて、高齢化により参加者がほとんどいない。地区の範囲すべてを作業することができない状況だが、市や県で業務委託することはできないのかお尋ねしたい。

建設部長：毎年地域の皆さまにご協力をいただきながら実施しておりますが、正式に市や県で作業範囲を指定しているものではございません。そのため、町内会等でできる範囲での作業にご協力をお願いいたします。なお、人数不足等で安全上支障があるといった場合には、維持管理課または総合支所にご相談をいただければと思います。

### ■仙台市との連携事業について

行政推進員（土関）：仙台市との連携事業について、詳細を教えてください。

産業部長：仙台市などと共に、首都圏等での物産展や伊達市のPRを行うほか、仙台市から伊達市へ来ていただくようなバスツアーの実施も考えておりま

す。仙台市と連携し、伊達市に来ていただけるような取り組みを進めてまいります。

#### 【月舘地域：質疑応答】

なし

#### 【伊達地域：質疑応答】

##### ■避難行動要支援者名簿の取り扱いについて

行政推進員（原）：例年、その地区における避難行動要支援者の名簿をいただいているが、個人情報の関係で限られた者しか閲覧が許されていない。有事の際の避難行動を助けることが目的なのに事前に町内会で情報共有ができないのは困る。

また、要支援者は個別避難計画の策定を促されているが、現時点でどれくらいの対象者が提出しているのかお聞きしたい。

今日は愛宕神社の例大祭で出席できない行政推進員も多い。地域の実情にも気を配っていただきたい。

健康福祉部長：お配りしている避難行動要支援者名簿は、そのものを共有するのではなく、地区の避難計画の中で役割分担や優先順位を決める際などに補完的にご活用いただき、その計画を町内会で共有していただければと思います。

また、個別避難計画の作成状況におきましては、令和8年2月9日時点での伊達地域の対象者は1,299人おり、そのうち656人に作成いただいております。

市長：本日の日程につきまして、愛宕神社例大祭と重なってしまい申し訳ございませんでした。今後は地域行事等をしっかり確認したうえで日程調整をしてまいります。

##### ■高齢世帯への支援について

行政推進員（駅東）：地区には高齢者が多く、孤独な高齢者が家で倒れていると

ころを発見されたという事例もあった。こういった高齢者に対し、町内会はどういった対応をとるべきか教えていただきたい。

また、市ではどういった支援を行っているかも確認したい。

健康福祉部長：避難に支援を要する場合、市で提供する避難行動要支援者名簿に情報が記載されておりますので、それをもとに日々の見守りや有事の際の避難支援など、町内会等での支援をご検討いただければと思います。

また、市としましては、固定型の緊急通報装置の設置や高齢者の配食サービスなども行っております。

### ■市営住宅の情報について

行政推進員（滝前）：地区には市営住宅があるが、内情は把握できず、いつの間にか入居者が増えていたり変わっていたりする。入居者が高齢者で孤独死しているなんて可能性もある。市営住宅だけでも入居者情報を提供いただけないものか。

建設部長：個人情報の関係もございすが、最低限の入退室情報は必要かと思えますので、どこまで提供できるか今は申し上げられませんが、市としても情報の提供を検討してまいります。

健康福祉部長：入居者が避難要支援者であった場合は、提供する避難行動要支援者名簿に記載されますのでご確認いただければと思います。

### 【梁川地域：質疑応答】

#### ■伊達崎橋について

行政推進員（向川原中）：伊達崎橋が復旧すれば、車通りも多いため地域住民にとっては大変危険です。そのため歩道の整備を早急にお願いします。

建設部長：伊達崎橋にかかる歩道の整備については県や国に要望しております。地域の皆さまの不安や要望も踏まえ、市からも引き続き強くお願いをしてまいります。

#### ■健康づくりについて

行政推進委員（内町①）：高齢化が進む地域で、多くの住民が健康づくりに励んでいます。しかし、健幸クラブFineの予約が非常に取りにくいいため改善

していただきたい。

また、新副市長である長沢副市長に今後の方針をお聞かせ願いたい。

副市長：ありがとうございます。私は39年間、市の職員として健康づくりを中心とした取り組みを行ってまいりました。今後につきましては、市民の皆さまが健康で安心して暮らせるまちづくりを目指し、20周年を迎えた伊達市の更なる発展のために一生懸命努めてまいりたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

健康福祉部長：健幸クラブFineに関しまして、予約が取りづらいというお声をいただいていることは承知しております。健幸クラブFineをはじめとした健康事業によって、将来的に介護などの予防に繋がりますので、市といたしましてもご要望の部分に力を入れてまいります。

#### ■地域住民の把握について

行政推進委員（内町①）：地区にはアパートも多く、名前も顔も知らない人が多くいる。町内会加入を進めてはいるがほとんどの人は入ってくれない。町内会としてどのように把握に努めるべきかお伺いしたい。

健康福祉部長：市としましては、避難に支援が必要な人をまとめた避難行動要支援者名簿を作成し提供しております。対象者は町内会に入っていないなくても名簿に載りますので、避難計画の作成などにお役立ていただければと思います。また、地域住民については、町内会の方々ができる範囲で把握に努めていただければと思いますが、難しい面につきましては市にご相談いただければと思います。

#### ■施設内トイレの洋式化について

行政推進員（陽光台）：地域の高齢者も増えているため、新田ふれあいセンターのトイレを洋式化していただきたい。

財務部長：市内には約300施設程公共施設がありますが、まだまだトイレの洋式化が進んでいない場所も多くございます。今後、要望や活用状況を踏まえて検討を進めてまいります。

#### ■カラスの対策について

行政推進員（桜町）：地区ではゴミ捨て場などカラスの被害に悩まされている。鳥獣害対策事業にカラスも含めて対応していただきたい。

また、市の予算や決算の詳細などをわかりやすく周知してほしい。

産業部長：鳥獣害対策事業にはイノシシ・ニホンザル・ハクビシン・タヌキのほかカラスも含めております。なお、農作物への被害などは、鳥獣対策の実施隊が活動しておりますので、今回ご相談のあった件もご報告させていただきます。

財務部長：市の予算・決算についてはだて市政だよりでお知らせしている状況ではございますが、今後は分かりやすい例えなどの工夫をしながら発信に努めたいと思います。

### 【保原地域：質疑応答】

#### ■立志式の実施方法について

行政推進員（富成第6区）：例年、立志式は1会場で行われ、立志証書の授与や芸術鑑賞が行われていたが、昨年度は各校での開催となり寂しくなりました。なぜ変更となったのか教えていただきたい。

こども部長：立志式を各校での開催とした理由としましては、1会場とすると規模や時間の都合上、一人一人への立志証書の授与が行えず、芸術鑑賞会などのイベントがメインとなってしまいます。そのため、お子さん一人一人に向き合い、立志証書をお渡しすることを大事にしたいと思い、各校単位での実施に変更しました。今年度の実施方法につきましては、市民会議理事会でお諮りしたうえで検討を進めてまいります。

#### ■プレミアム付き商品券について

行政推進員（中屋敷）：プレミアム付き商品券のこれまでの販売実績と今後の計画について教えていただきたい。

産業部長：これまでの実績につきましては、令和7年度が32,730セット、令和6年度が32,891セット、令和5年度が32,457セットと、毎年おおよそ3万2千～3万3千セット程ご購入いただいております。今年度については1セットあたりのプレミアム率を増額し、多くの市民の皆さんにご利用いただけるよう努めていきたいと思っております。